

研究構想シート	学校名	松江市立出雲郷小学校	
	氏名	古賀 真実	
A 研究主題			
つながり合って 学びを深める子どもの育成			
B 研究の目的			
子ども達が解決すべき課題を共有し、対話により考えを交流し合って、ものの見方や考え方を広げたり、新たなものを生み出したりしながら主体的に学ぶ姿を通して、知識や技能が実感を伴う深い理解へとつながることを明らかにするため			
C 子どもの実態	E 手立て・内容（研究仮説）	D めざす子どもの姿	
<ul style="list-style-type: none"> ・相手の意見を一度受け止めるといふ姿勢が育ち、互いの意見の良さについて気付き、意見をつないで多様な考えを出せるようになった。一方、話の内容を的確につかむための要約力が十分に育っておらず、質問がパターン化したり、相手の意見との相違をつかめないことから、異なる意見を恐れず述べたり、良質な批判をしたりするまでには至らない。 ・スピーチを通して友達とつながっている安心感や対話の楽しさを感じて、自信をもって主体的に取り組んでいる。 ・声を出すことにのみ意識があると大きな声は出るが、考えながら話すときには、声が小さくなり口もあまり開かない状態になりがち。 	①「めざす子ども像」をもとにした授業づくり ②対話により授業を深める授業づくり ③発言スキルアップの取組 ④対話力スキルアップの取組	ア 全員が解決すべき課題を共有して、全員参加（それぞれの気づきの出し合い）で意見交流をしている。 イ 聴く力（要約力）が育ち、話し手の考えの意図や思い・願いを的確にとらえて受け止めている。 ウ 発言への意欲をもち、くり返し発信する中で、一つの考えに固執せず、発想の転換ができています。 エ 批判や異なる意見、考えの対立をこわがらず、むしろそれを楽しむことができる。 オ 互いの意見を交流する中で、複数の考えから最良と判断できる考えを選択したり、曖昧な部分について理由や根拠などをはっきりさせて説得力のあるものにしていたりしている。 カ みんなで出したひとつの結論にとどまらず、再思考（見直したり・練り直したり）しながら探究する楽しさを感じている。 キ 自分が新たな知識や考え方を得て、成長していることを感じ取り、そこに喜びを感じている。 ク 自分が所属する集団（グループ・クラス・学年）がさまざまな意見を交流しながら、新たな見方や考え方を見出し成長していることに喜びを感じている。	
	F 検証方法		○目指す子ども像にせまるための手立てを実践を通してさぐり、より多くの有効な支援の仕方を共有する。 ○各学年子どもの実態に合わせて、学期ごとの重点を設定し、振り返りながら高めていく。 ○指導案では、「めざす子ども像へのアプローチ」として明記し、手立ての有効性を確かめる。
	G 研究計画		
	○職員会議で共通理解し、1年を通してそれぞれが実践していく。 ○6月に、多田孝志先生に来ていただき、指導、講演をしていただく。 ○学期に1回学年部で取組の振り返りを行う。さらに、年度末には全職員で今年度の成果と課題をまとめる。		